

日本人アタマに、英語アタマを移植する！ Cultivator into English Syntax

Cultivator (カルチベーター) 養成者、物

英語は「音・意味・文法」が語順で表されている。

今までの英文法では、文法とイントネーション(抑揚)の関係(規則)に気付けなかった！

語順規則(文法)が、強弱&高低:イントネーション(抑揚)を支配し、働きを表している。

規則が分かれば、自分で英文・英音が作れるよう⇒使えるようになる。

時間	講座	概要
10:30 ↓ 12:00	VSOP エッセンス 講座 SVOP抑揚 とは	<p>★英語の語順には、一定の規則性がある。 =理解できなかった理由</p> <p>Vのところは「動詞(Verb)」という特定の品詞で呼べない。なぜなら、「動詞(Verb)」に限らず、他のいろいろな品詞の言葉を「同じ働き」で使っている。であるが故に「品詞名」ではなく「文節名」にすべきで、この部分の文節名を「判断語:Verdict」とする。</p> <p>この部分は「話し手の気持ち・判断」を表しており、その後ろに「対象を言う」ので、これを「対象語(O)」と呼ぶ。これらのことを総合して考えていくと、英語の一定の語順が見えてくる。</p>
12:00 13:00	休憩	<p>昼食</p> <p style="text-align: right;">hertz(ハーツ):1秒間の周波数</p>
13:00 ↓ 13:50	Cultivator I 日本人が出せない高い音	<p>Phonics を実践しながら、Syntaxを身に付け、自分情報を蓄える。 All in One プログラム。</p> <p>日本語との違いを意識する。 英音、3776hzの壁</p> <p>1-1 個々音節の発音の違い:母音と子音の英語式発音 発音記号の読み方 「日本語に無い音」「ローマ字読みになっている音」に非常に多い=通じない原因 カタカナ語の発音は全部違っていると思え 「日本語的発音では、ほとんど通じない」ことに気をつけましょう。</p> <p>1-2 個々の単語の発音の違い:アクセント(強弱)の英語式発音法 =通じない原因 「子音を強く、母音を弱く」⇒日本語の逆</p> <p>1-3 文全体でイントネーションの違い。音程の上がり下がりが大きい。 =聞こえない原因 日本語は、イントネーション(抑揚)がほとんど無い。</p> <p>☆☆ 英語のイントネーション(抑揚)には、SVOPによって支配されている抑揚がある。</p>
14:00 ↓ 14:50	Cultivator II Mighty:64 のInto_SVOP	<p>★平叙文の基本文のSVOP抑揚 Intone_SVOP</p> <p>Mighty 64 :「英語の基本文を、品詞で分けると「64の基本構文」⇒SVOP。 判断語の組み合わせは、「V=/v1+V2↑↗)」</p> <p>2-1 [do]Verb ② be □□ ③ have 名詞 ⇒言葉の組み合わせは無限。</p> <p>2-2 □□ はあらゆる言葉。どのような言葉でも、V2が判断を表し、音が上がる↑。</p> <p>2-3 V1は判断詞(V1)は操作語 :be、do、have、will、can、may。</p> <p>2-4 「時制」は、現在と過去だけ。判断詞(V1)で表す。</p>
15:00 ↓ 15:50	Cultivator III 文の操作は語順を使う	<p>★英会話の肝 会話は「疑問とその応答」①Mighty 64</p> <p>3-1 平叙疑問文・応答、否定文は、語順+発音が「ワンパターン」。</p> <p>3-2 否定文の語順は、「S /v1 not V2 ↑ 0 -P」</p> <p>3-3 疑問文の語順は、「v1 ↑ S V2 ↑ 0 -P ?」 「v1 ↑ S V2 ↑」の語順は「疑問形」</p> <p>3-4 英文の操作は、「S とV1とV2」を使ってワンパターンに行っている。</p>
16:00 ↓ 16:50	Cultivator IV 疑問文の作り方はSVOP	<p>★英会話の肝 会話は「疑問とその応答」②Mighty 64</p> <p>疑問詞を使った疑問詞疑問文の作り方と答え方。</p> <p>4-1 文頭で使う疑問詞 :[who, what, when, where, why, how, which, whose, whom]</p> <p>4-2 主語(S)を聞く疑問文 {W ho} {W hat} /v1 V2 ↑ 0 -P ? 応答 ⇒ S v1.</p> <p>4-3 目的語(O)を聞く疑問文 {W ho [m]} {W hat} v1 ↑ S V2 ↑ 0 -P ?</p> <p>4-4 叙述語(P)を聞く疑問文 {W hen} {W here} {W hy} {H ow} v1 ↑ S V2 ↑ 0 ?</p>
16:50 17:00	修了発表	自分を語る「講座内で貯めた 自分情報」を30秒スピーチ